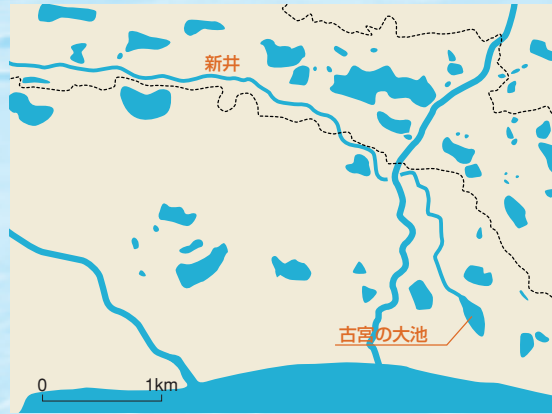


「水のめぐみ」より



▲江戸時代の「新井古宮組絵図」



▲三角測量による地形図

⑩ 江戸と明治 地図の違い

水路をつくるときには、必ず、事前に地形を測量して、地図をつくります。江戸時代の今里伝兵衛さんも、新井をつくるにあたって、地形測量をしているはず。今残っている地図では「新井古宮組絵図」が有名です。

一方、今回の特別展で「淡河川疏水線路図」（稲美町指定文化財）を展示しました。1887年に「測量」された地図です。三角測量によって、距離や方角、地形が正確に描かれています。

比べると、江戸時代は正確な絵画の地図に対し、明治は設計の地図だとよくわかります。このとき、考え方も「水と共存」から「水を征服」になったともいわれます。

川やため池の思い出を募集しています。（郷土資料館）



このコーナーに登場してくださる「人、仲間たち」をご紹介します。自薦・他薦は問いません。企画グループ

社協おやじの会

代表 相部聡さん

活動（結成）のきっかけは？

広報紙や新聞を通じて播磨町社会福祉協議会が、40歳以上の方を対象に参加者募集をしているのを見て、興味を持ち参加しました。

グループのメンバー構成の特徴

現在は、会員9人で、全員が会社を退職した60歳以上ですが、会としては、40代・50代のおやじさんたちも募集中です。

活動の内容（練習・試合・発表など）

月1回定例会を実施。会員相互の交流のほか、町の「夏まつり」「大中遺跡まつり」に綿菓子模擬店を出店し、売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付しました。播

グループのモットーは？（目指しているものなど）

『出来ることよりもしいことを探す。また、好きなことを出来る範囲でやる』①地域活動始める「地域デビュー」のきっかけ。②心豊かに笑いのある人生を送る。③笑顔で語りあえる友達をつくる。

ユニークなエピソード（最近の話題）など

綿菓子の模擬店では皆、初めての経験で『売れるだろうか？』と損失覚悟の参加でした。結果は、開店から閉店までお客さまの長蛇の列が切れることなく、うれしい悲鳴をあげました。また子どもたちのうれしそうな顔を見ると疲れも半減し、トイレに行くのも忘れのほぐでした。

